



©2005 石塚真一小学館

島崎三歩の山岳通信 特別連載 Vol.11

信州 山のプロフェッショナル

長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則 1 週間ごとにお伝えしている「島崎三歩の山岳通信」。その特別連載として、季節ごとに発行する「山岳情報」に登場！

信州の山で多方面に活躍する“プロフェッショナル”の方々の声を、皆様にお届けします！（聞き手：編集部）

Vol.11 “観光地域づくり”のプロフェッショナル インバウンドだけじゃない！

今だから楽しめるマウンテンリゾート HAKUBA VALLEY の魅力

一般社団法人 HAKUBA VALLEY TOURISM

代表理事 高梨光さん

<プロフィール>

東京大学卒業後、東急不動産㈱でリゾートの開発・運営、KPMGでコンサルティング業務を経験。北アルプススキーエリア管内の索道事業者で構成する「HAKUBA VALLEY 索道事業者プロモーションボード」の会長に就任。索道事業者 14 社をまとめ上げ、エリアを統一したプロモーションを主導してきた。平成 31 年 4 月に(一社)HAKUBA VALLEY TOURISM を設立し代表理事に就任。組織の中核となって 3 市村連携した観光事業を推進している。



「新しい価値観「HAKUBA VALLEY 全 10 スキー場でひとつのリゾート」」（高梨）

一この地域(大町市、白馬村、小谷村)の魅力をお聞かせください。

高梨 冬期は北アルプスの雄大な山々に上質のパウダースノーが降り積もり、夏期は立山黒部アルペンルートや気軽に大自然を体験できるアクティビティ施設など、1 年を通じて楽しめる人気の山岳リゾートです。日本はもとより、オーストラリアやアジア諸国、北米、ヨーロッパなどから多くの観光客の方にお越し頂いています。

一近年増加傾向にあったインバウンドが今回のコロナで見込めない状況の中、どういった戦略を持ち、エリアでどういう活動をされているか、お聞かせください。

高梨 新型コロナウイルスの影響が観光・旅行業界に大きな影響を及ぼす中、長期化が見込まれる With コロナ期における戦略として、マイクロツーリズムの促進という観点から日本国内への訴求強化を図っています。例年、年末年始を海外で迎えられている方や、以前スキーをされていたが今は少し遠ざかっている方に、「HAKUBA VALLEY 全 10 スキー場でひとつのリゾート」という新しい価値観をご提供し、地域経済の活性化を促進したいと考えています。

ただ、まずはおお客様に安心・安全にご利用いただく、ということが第一であると考えています。そのために、訪れるお客様や従業員、そして地域住民の安心・安全に配慮するため、また、「with/after コロナ期」にさらにクリーンな観光地域へと成長するために、宿泊、飲食、索道などさまざまな事業者を対象とした「HAKUBA VALLEY クリーン認証制度」を制定しました。



また、スキー場利用やバックカントリーに関して、外国人来場者が増加する中、安全対策の整備が追いついていない点や、スキー場ごとにルールが異なり「分かりづらい」といったご指摘を頂きました。そのような背景から、「Safety Tips 安全上の注意事項」(P22)という名称の安全啓発文章をスキーパトロール隊や索道事業者、長野県警、北ア北部遭対協、山岳ガイド、雪崩ネットワークなどの安全管理や救助に係るプロが集まり整備しました。

―インバウンドが少ないこのタイミングだからこそ、国内のお客様にお楽しみいただける、今だけの楽しみ方をお聞かせください。

高梨 例年、年末から2月末まで大勢の外国人来場者がお見えになり、各スキー場とも大変混雑していますが、今シーズンはすこし異なりそうです。元来、スキー・スノーボードなどのウィンタースポーツは屋外で、かつ個人で楽しむレジャーであり、感染リスクは低いものと考えています。もちろん「密」になりやすい場所には十分な対策を施しながら、お客様にもご協力をお願いして参ります。いずれにしてもインバウンドのお客様が少ないタイミングですので、広大なゲレンデを思いっきり楽しんで頂きたいと思っています。

「コンセプト「世界から選ばれる山岳観光地域の構築」(高梨)

―インバウンドの再開を見据え、エリアで注力していきたい取組や今後の抱負をお聞かせください。

高梨 私ども広域型 DMO 設立時の形成計画に「世界から選ばれる山岳観光地域の構築」という言葉があります。このコンセプトは世界に誇る北アルプスの雄大な自然や地域が育んできた山岳文化を背景に、国内外から訪れる観光客に質の高い

自然の豊かさや心の豊かさにあふれる 持続可能な山岳エコツーリズムの聖地へ

- ・ 多様な生き物を育む北アルプスの山、雪、水をまもりま
- ・ 自然の恵みをいかして、食べ物やエネルギーの地産地消をめざし
- ・ 人にも自然にもやさしく、住む人も訪れる人も誰もが幸せを感じられる豊かなまちをつくり
- ・ 先人の知恵を大切にしながら、新たな技術で変化を生み出し、より良い社会をつくり
- ・ 未来の世代に持続可能な地域を受け継ぐため、共に学びあいみんなで行動します

HAKUBA VALLEY SUSTAINABLE GOALS

滞在環境を提供し、観光を軸に地域経済が豊かに循環し、そこに住む人々が誇らしく生活することができる地域を持続させていくことを意味します。このコンセプトの実現に向けて現在さまざまな取組を行っていますが、先日、HAKUBA VALLEY の SDGs ビジョンおよび中長期目標を発表致しました。今後、地域事業者や住民の皆さんに向けた SDGs や気候変動などに関する講習会を実施して、持続可能なリゾートの先駆者となるべく、直接的な観光事業者のみならず、幅広い事業者と連動しながら取組みを展開していきたいと考えています。また、コロナを契機にワーケーションという新たな生活様式がうまれました。HAKUBA VALLEY でもより快適なステイを楽しめるよう、無料 Wi-Fi の広域化やワーキングスペースの拡充・周知、各種イベントの企画を積極的に取り組んでいます。

―本誌の読者の登山者やスキー・スノーボーダーに HAKUBA VALLEY 地区を安全に楽しむために、ぜひアドバイスをお願いします。

高梨 HAKUBA VALLEY にお越しになる皆様には、ぜひ来場前に「Safety Tips 安全上の注意事項」をお読み頂き、ご自身やご家族、ご友人の安全のためにも、今一度安全対策についてお考え頂きたいと思っています。

―長年にわたって持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる高梨さんの地域を愛する想いをお聞きしました。安心・安全にリゾートを楽しむのも観光客の責務。「Safety Tips 安全上の注意事項」を身につけて信州の山岳リゾートを安全に楽しみましょう!